

【ご案内】

「家庭科の授業を語る会（第207回）」の開催

師走に入り何かと気忙しくなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。インフルエンザも流行しているようですので、どうぞ体調を崩されないようお気をつけ下さい。

さて、第207回の「家庭科の授業を語る会」では、高等学校家庭科において高校生が将来の収支をふまえた上で自らの生涯を見通し、現在の自分が何をすべきか考える授業について、梨岡さくらさんに提案してもらいます。その実践結果についても報告してもらいますので、一緒に検討していきましょう。なお、今回は、**オンラインのみでの開催**となりますので、ご注意下さい。

●日 時 : 2025年12月20日(定例の第3土曜日) 午後2時から午後4時

●場 所 :

Zoomでのご参加は、下記のアドレスに接続下さい↓

<https://us02web.zoom.us/j/82555748274?pwd=PGhkoWy4Nff2eigG9GYazWimO5rYa5.1>

○ミーティング ID: 825 5574 8274 ○パスコード: 1Bbg6u

●話 題 : 生涯を見通す力を育む高等学校家庭科
—将来の収支をふまえた生活設計—

●話題提供者 : 梨岡さくら（宮崎大学大学院）

「家庭科の授業を語る会（第206回）」（2025年10月18日）の報告

○話 題 : 題材「整理・整頓で快適に」の捉え直し

○話題提供者 : 弓削千夏・矢田大翔・伊波富久美（宮崎大学大学院）

第206回の「語る会」では、大学院生の弓削さんと矢田さんが附属小学校で実践した第5学年の題材「整理・整頓で快適に」の授業について検討を行いました。

今回取り扱った授業は、全4時間構成の第4時です。言葉だけの学習にならないように、自分たちの机の中を整理する活動を取り入れ、本時では前時に子ども達が「不要」としたもの見つめることから授業を開始していました。「必要なもの」「不要なもの」を、線分図を使いながら、その程度を分けていくことで、その人なりのこだわりによって必要度の認識が異なることや、使用頻度が異なることに気付くことができるよう工夫されており、多様性が見える場面設定を行っていたのが印象的でした。これにより、子どもたち自身が自分のモノの使い方を振り返った上で「5R」について語り始めたり、第3時までで学習したことを言葉だけでなく実践して学んだりという姿勢になっていました。

今回の授業実践では自分の机の中について考えていましたが、「家族のこだわり」や「みんなにとってのこだわり」に目をむけて、教室での学びを家庭と結びつけていくことを大切にしたいと考えることができました。ありがとうございました。（文責：松田）

連絡先：家庭科の授業を語る会（事務局）

〒889—2129 宮崎市学園木花台西1-1 宮崎大学家政教育講座内

伊波 富久美（大学院教育学研究科）：Tel/Fax 0985-58-7539（直通）

：メールアドレス e09101u@miyazaki-u.ac.jp（cc.を削除）

瀧元 有理（教育学部）

：Tel/Fax 0985-58-7541（直通）

：メールアドレス takimoto.yuri.q0@miyazaki-u.ac.jp

●「家庭科の授業を語る会」のホームページ：<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc074/htdocs/>